

す

く

す

く

91号



東京都済生会中央病院附属乳児院 2025年度 第2号 2025.7.1発行

東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

夏本番となり厳しい暑さが続いているますがいかがお過ごしでしょうか。乳児院では、猛暑に負けず毎日水遊びを楽しんでいる子どもたちです。夏の楽しみはまだまだあります。すいか割りや花火大会、電車に乗ってのお出かけを計画しています。熱中症に注意しながら、子どもたちと今年の夏を思いきり満喫したいと思います。

皆さまお気づきでしょうか。今年1月に発行した広報誌から、この表紙に7つのおうちのイラストを掲載しております。これは4年前、当院を新築する際の私たちの思いをシンボル化したものです。

乳児院は、子どもたちにとって生活の場であり家庭であると考えています。当乳児院も、子どもたちが安心して生活できる“おうち”です。ここでの暮らしや経験、人との触れ合いや地域のみなさまに温かく見守られながら、子どもたちはすくすくと成長することができます。そんな心が安らぎ、心が戻る場所であり続けたいと思います。

日頃より乳児院の活動にご理解とご支援をいただいている地域の皆さま、関係者の皆さまには深く感謝申し上げます。今後とも子どもたちへのご支援をよろしくお願ひいたします。

看護師長 小泉 菜穂子



ひとりひとりの安心
ひとりひとりの生きるチカラ



わたしのおうち

理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。

（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです）

基本方針

「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、

子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求していきます。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めています。



こいのぼり会

5月9日に鯉のぼり会を行いました。プレイルーム内に飾られた鯉のぼりや折り紙の装飾、大きな五月人形を見る子どもたちの目がキラキラし、触れようと手を伸ばす姿が印象的でした。乳児さんの会では、ふれあい遊びで心地よさそうにする表情に職員も癒されました。幼児さんの会では、元気一杯に体操をする姿に成長を感じました。さらに、幼児さんたちは、鯉のぼり会の手作りおやつと柏餅の餡をじっくりと食べ比べ、味覚でも行事の楽しさを味わっていました。

保育士 奥ノ矢 奈津



苗植え

5月の暖かい気候の中、今年も種まき・苗植えの時期がやってきました。ナスにキュウリ、トマトに枝豆、小松菜などたくさんの種と苗が並ぶ中、子どもたちは自分が植えたいものを選びます。これから何をするのだろうという表情をしながら、職員のお手本の後、そっと種や土に触ってみる子、大胆に種を土に撒く子、スコップで植えた苗を掘り起こそうとする子など、さまざまな姿が見られました。これから水やりに励んで野菜の成長を楽しんでいければと思います。

保育士 照井 美紀



遠足

マザー牧場

5月22日、幼児低月齢の子ども達が千葉県のマザー牧場へ遠足に行きました。羊にそっと触ってみたり、広い芝生を思いっきり歩いたりと自然を満喫しました。お土産屋さんでは、どれにしようかあっち行ったり、こっち行ったりお土産とにらめっこしながら、「これだ!」というものを選んで満足した表情をしていました。春の穏やかな日差しの中、さまざまな経験を楽しんだ子どもたちでした。

保育士 前田 朋子



潮干狩り

5月29日、木更津市へ潮干狩りに行きました。小さな子どもは貝を探すよりも、砂浜の海水がたまつた小さな窪みで泥だらけになって磯遊びを満喫していました。カニを捕まえ誇らしげな表情でみんなに見せている子もいました。お昼は作り立ての焼きそばを味わい、心地良い気候の中、青空の下でのんびりお昼寝をしました。可愛いいい寝顔を見ながら、こうした体験を重ねて心豊かに育ってほしいと思いました。

保育士 小長谷 香利



各居室の子どもたちの日々のエピソードをお届けします

たんぽぽ



最近のブームは“いないいないばあ”です。大人が「いないいない…」と声をかけると「ばあ！」とニコニコの笑顔を見せてくれます。両手で顔を覆ったり、おもちゃで顔を隠したり、壁際に隠れたり。何度も披露してくれる姿がとても可愛らしいです。

保育士 宮野 由貴



こすもす



こすもすでは、手作りおもちゃを持ち、公園内を楽しくお散歩しています。大人に抱っこしてもらうのが大好きな子どもも、楽しそうに遊ぶお友だちを見て「Aちゃんもやる！」と抱っこから降りて元気に歩き出します。

公園でたくさん歩いた後は、お昼ご飯を食べてぐっすりみんなでお昼寝です。

保育士 須藤 多笑



ひまわり

ひまわりの子どもたちは大人とだけではなく、お友だちとも手を繋いで歩くことが大好きです。お友だちに手を繋いでもらうと、嬉しそうにする子や少し照れた様子の子など反応も様々です。子ども同士で仲良くしている姿を見ると大人も自然と笑顔になります。

保育士 宮野 郁



ちゅーりっぷ・さくら

6月5日に葛西臨海公園へ遠足に行ってきました。芝生の上に座って葉っぱや土に触れたり、お花をじっくり見つめたりと自然の中でのんびりと過ごしました。午後は水族園にも行き、ゆったり泳ぐお魚や元気に動くペンギンを目で追いながら興味津々の子どもたち。心地良い風とたくさんの発見に包まれて、笑顔あふれる一日となりました。

保育士 柴田 華



新入職員紹介



一人ひとりに寄り添い、子どもたちの笑顔と成長を支えられるように頑張ります。(保育士)



子どもたちが安心して過ごせるよう、関係をゆっくり築いていきたいです。(保育士)



個別性に寄り添ったケアを大切にし、子どもたちにとって心地よい存在を目指していきます。(保育士)



子どもたちと楽しく過ごしながら、安心できる存在になれるように頑張ります。(保育士)



子どもたちと楽しく元気に毎日過ごしていきたいと思います。(保育士)



子どもたちの力になれるよう初心を大切に、日々努力していきます。(看護師)



子どもたちの成長発達の一助となるよう尽力いたします。よろしくお願ひいたします。
(理学療法士)



子どもたちの成長を見守りながら、安心、安全に繋がるサポートをしていきます。
(家庭支援専門相談員)



子どもたち一人ひとりの発達ペースに合わせながら、成長を見守っていきたいです。(心理士)

ショートステイ事業紹介

当院では、令和3年度より地域の子育て支援の一環として、ショートステイ事業を行っています。開始当初は港区在住の方が対象でしたが、現在は品川区、大田区の方も対象となりました。生後5日から1歳未満（大田区の方は2歳未満）のお子さんを対象に、1泊～6泊までご利用いただけます。保護者の入院や家族の看護・介護、出張、冠婚葬祭、休息などでご利用が可能です。保育士、看護師、支援員、管理栄養士などの専門職が連携して、安全にお子さんをお預かりしています。

育児で困ったときや疲れたときに気軽に相談できる、頼れる場所としての乳児院を目指し、今後も地域との繋がりを深め支援の輪を広げていきたいと思います。

家庭支援専門相談員 平岩 葵

【0～3歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。担当 看護師長 小泉

【寄付金について】

当院では子どもたちの養育環境整備のため寄付金を募っています。担当 事務 竹田
上記について詳しくは右記までご連絡ください。TEL 03-3451-8289（直通）

「すくすく 第91号」2025.7.1 発行

〈発行人〉 岡尾 良一

〈編集委員〉 小泉 菜穂子 峯越 雅子 宮野 由貴 柴田 華